

経尿道的膀胱腫瘍切除術（TUR-BT）を受けられる患者様へ

◆ 私たちは、入院生活や治療が順調に進むように下記の計画に基づき援助します。

お名前 様 主治医 受持ち看護師

日付	入院日・手術前日		手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	退院日
			術前	術後					
活動	安静度	病院内でご自由にお過ごし下さい。	病棟内でお待ち下さい。	手術当日はベッド上で安静にさせて頂きます。	医師の許可後、歩行が可能となります。最初の歩行は必ず看護師と共に行います。	医師より制限が無い場合は病院内を自由に過ごすことができます。			→
				寝返りは可能です。	医師より制限がない場合は病院内を自由に過ごす事ができます。				
	排泄			手術後は尿道に管が留置されています。この管より自然に排尿されます。	尿道に管が留置されています。	尿道に管が留置されています。	尿道の管を抜きます。（状況によっては術後4日目以降となります。）必要時、尿量の測定をしていただきます。		
清潔	シャワー浴を行って頂きます。				看護師が体をタオルで拭き、着替えをお手伝いします。	感染予防のため、尿道の管が留置されている間は毎日シャワー浴を行って頂きます。	シャワー浴が可能です。		→
食事	夕食までお食事が可能です。水分は21時まで可能です。	飲んだり食べたりはできません。	飲んだり食べたりはできません。	朝6時以降、お水を飲む事が可能となります。朝食から食事が開始されます。	制限はありません。				→
検査	採血をさせていただきます。								
処置	麻酔科医師の指示で眠前よりOS-1という飲料水を飲んでいただきます。		血尿が強くなって管が詰まることを予防するために、膀胱内を持続的に洗浄する処置を実施することがあります。						
注射		手術の開始時間によっては、点滴を開始します。	点滴をしています。	夕方方の検温時に発熱がなければ点滴が終了となります。					
内服薬	お薬は眠前まで通常通りに内服します。	医師より指示のあったお薬のみ内服します。	内服は中止となります。	医師が指示をしたお薬のみ内服を再開します。					
教育説明その他	手術後に必要な物品の準備をお願いします。 ⇒必要な物品(テープタイプの紙おむつ1枚、曲がるストロー1本、OS-1)		管の違和感が強い場合には痛み止めを使用しますので、我慢せずに申し出て下さい。	感染予防、血栓予防の為に積極的に水分を摂取してください。一日の目安は、1000～1500ml以上です。					【退院後の生活について】 以下の場合は病院へ連絡してください。 ①血尿が出現し、それが続く。 ②尿が出にくくなり、下腹部に痛みや張りを感じる。 ③38℃以上の発熱が続く。
備考									

お大事にしてください

